

「IC SCAN」 導入事例ご提案書

(IC カード発行後内容を確認したい)

2025 年 7 月

株式会社システムズ・インテリジェンス・プロダクツ（略称：SIP）

本書では、IC カード発行後に内容を確認したいというニーズに対応するため、弊社製品「IC SCAN」の活用方法をご提案いたします。

社員証・職員証・学生証などに正しく情報が書き込まれているかを簡単に確認できるツールとして、業務の品質管理やトラブル対応にご活用いただけます。

1. 導入の目的

IC カード発行システムを利用して社員証・職員証・学生証などを発行した後に、

- ・データが正しく書き込まれているかを確認したい
- ・読み取り不良のカードの状態を即時に確認したい
- ・発行現場や総務部門で、IC カード確認のための簡易リーダーが欲しい

といったニーズに対応するための確認ツールとして、「IC SCAN」をご提案します。

2. 導入の背景

- ・IC カード発行後、鍵付き領域を含むデータ内容を簡単に確認できる手段がない。
- ・「カードが読めない」と持ち込まれた場合、その場で状態を確認したい。
- ・特に鍵付き領域の確認には専用設定が必要であり、専用機器でのチェック体制が求められている。

3. 運用方法

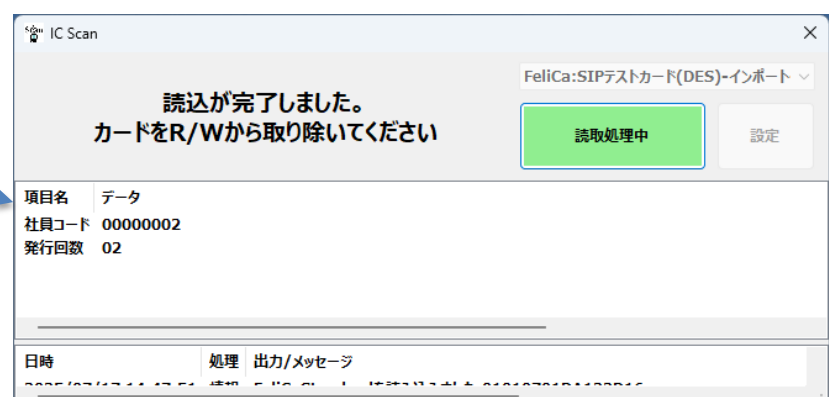
- ・IC SCAN のショートカットを起動します。



IC リーダーの上に IC カードをかざします。



カード内のデータが即座に画面上に表示されます。



4. 費用感

- ・ PC はお客様にてご用意いただきます。
- ・ 弊社では、FeliCa 及び Mifare 設定確認、機器準備、設置・操作指導を一括対応いたしますが、
IC SCAN は宅配便で発送・お客様設置にてご利用可能です。

- ・ 初期導入費用の目安：
弊社が IC 設定を行う場合：8 万～20 万円（税抜）
お客様自身で IC 設定を行う場合：約 5 万円（税抜）

5. 技術的な対応ポイント

FeliCa 対応（鍵ありサービス含む）

- ・ 鍵の開示があれば、鍵あり領域の読み取りが可能です。
- ・ 鍵なしサービス領域については、開示不要で読み取り可能です。

Mifare 対応（鍵付き領域対応）

- ・ Mifare カードに対応しています。
 - ・ 鍵が開示されている場合、全 16 セクタの読み取りが可能です。
- ※鍵が未開示のセクタは読み取りできません。

以上